

2. 商業の展開

No. 6

※朱印船貿易などで巨利を得ていた初期豪商にかわり、独自の商品で発展する新興の商人が現れた。酒造をきっかけとする鴻池、材木の紀伊国屋、奈良屋、呉服の越後屋などが代表的な新興商人。

① 9 _____ を中心とする流通機構の整備

問(問丸)の発達したもの。倉庫業を兼ね、生産者・荷主から商品を仕入れ、その商品を仲買や小売に卸した。

② 10 _____ の結成 [図表P. 185 1] の ㉔ のこと。

同業者などが相互扶助や営業ルールの取り決めなどのために結成した問屋仲間が幕府・諸藩によって営業独占権を与えられたもの。 ※「株」はここでは営業権をさす。

☆ 17世紀末に結成された江戸の荷受問屋仲間・11 _____ や大坂の荷積問屋仲間・

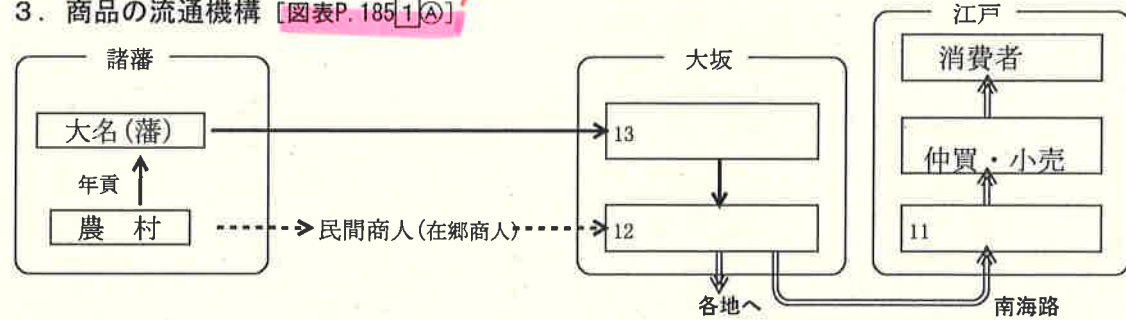
12 _____ は株仲間の代表。 [図表P. 185 1] ㉔㉕

この説明文から想像がつくでしょうか? 教科書 P. 211 ㉔ 1 ~ ㉔ 9. を読むとその存在と何と何かだった。見当がつきますかね?



これは商流にしたいから下の図です。上は上と同じものが入ります。

3. 商品の流通機構 [図表P. 185 1] ㉔



【蔵屋敷について】 [図表P. 183 2] ㉔

* 14 _____ …蔵屋敷 (13) で蔵物の出納・売却を担当した商人。はじめは武士の蔵役人であった

* 15 _____ …蔵物の売却代金の保管・送金を担当した商人で、蔵元と兼ねるものも多かった。

※ ———→ のルートをとる年貢米・産物を16 _____ という

※ -----> のように蔵屋敷を経ない商品を17 _____ という

これに関しては教科書 P. 210 ㉔ 12 ~ ㉔ 17 の記述がわかりやすい。



〈もう一つの流れ~旗本・御家人の俸禄米〉



※旗本・御家人の代理として蔵米の受取・売却を行った。史料中では「蔵宿」ともよぶ。浅草蔵前に集中していた。

この図が本来の姿ではあるが、図表は現実的にはこうだったという姿で表しています。図表 P. 185 1] ㉔ の図で「旗本・御家人」という語句を見つけると、彼らが米と換金してもらった 18 の名前も近くにあります。

